

平成24年度卒業論文

# 麻雀におけるプロと素人の違い

所属ゼミ 村澤ゼミ

学籍番号 1090401093

氏名 中 喜重

大阪府立大学経済学部

## 要約

麻雀は運の要素が強いゲームであるがその中でもプロと呼ばれる人たちが存在する。本稿では、プロと素人の打ち方の違いをデータ分析によって考察する。

目次

第1章	はじめに .....	4
第2章	.....	4
第3章	.....	4
第4章	データについて .....	4

## 第1章 はじめに

## 第2章

## 第3章

## 第4章 データについて

本稿で用いられるデータは「日本プロ麻雀協会」が提供しているものである。日本プロ麻雀協会とは、麻雀の普及と発展に関する事業を行い、人類文化の向上に寄与することを目的とする社団法人団体である。当協会では雀王戦、雀竜戦、オープン戦などさまざまなタイトル戦がある。ルール・役は一般的に広く使われているものを採用する。ここでは本稿で用いる雀王戦と雀竜位戦について述べる。

雀王戦はリーグ形式のタイトル戦で、C3より始まり、C2・C1・B2・B1と続き、Aが最高リーグとなる。Aリーグ全10節終了時、上位3人が決定戦に進出。前年度雀王を交え決定戦が行われる。勝ち負けによってリーグの昇降がある。

雀竜位戦はランキング制のタイトル戦である。C級予選から始まり、C級・B級・A級と勝ち進み、A級終了時、上位3名が決定戦に進出。前年度雀竜位を交え決定戦が行われる。

順位の決め方であるが、当協会では、半荘戦を繰り返し行い、1回戦ごとのポイントの合計で決める。ポイントの付け方は25,000点の30,000点返しで、1,000点を1Pとする。オース終了時点で30,000点からの得失点でポイントをつける。さらに、1位+50P、2位+10P、3位△10P、4位△30Pをそれぞれ加算する。このポイントの合計で順位をつけるのである。

本稿では日本プロ麻雀協会に所属している8名の雀士のデータを用いた。試合1局ごとに局名、親、上がった人、上がりの種類・巡目・点などを記録した。下記の表はその記録から8名の試合での打ち筋などをまとめたものである。また、8名のうち鈴木、崎見、須田、小倉の4名は第8期雀王決定戦、中里、大脇、福田、中林の4名は第8期雀竜位決定戦で対局している。

	鈴木	崎見	須田	小倉	中里	大脇	福田	中林	平均
上がり率	38.6	15.9	18.2	18.2	14.6	31.7	18.3	25.6	22.6
ツモ	64.7	42.9	25.0	50.0	25.0	50.0	66.7	38.1	45.3
ロン	35.3	57.1	75.0	50.0	75.0	50.0	33.3	61.9	54.7
連チャン率	29.4	33.3	27.3	20.0	27.8	29.2	26.7	32.0	28.2
振り込み率	7.8	18.2	11.4	9.1	13.4	8.5	12.2	12.2	11.6
リーチ率	18.2	20.5	29.5	25.0	14.6	29.7	23.2	18.3	22.4
鳴き率	36.7	20.5	18.2	20.5	22.0	24.4	9.8	30.5	22.8
最終結果	245.5	-181.0	-250.4	179.9	-238.9	150.8	-23.6	111.7	